

令和8年9月16日

分任契約担当官
陸上自衛隊湯布院駐屯地
第404会計隊湯布院派遣隊 長谷川 昭祐

第404会計隊におけるオープンカウンター方式による見積り依頼について

- 1 本リストは、オープンカウンター方式実施要項に基づく手続きが必要です。
- 2 本方式は、随意契約を前提とした見積依頼であり、有効な見積書をもって申し込みをした者のうち、予定価格の制限の範囲内で最低の価格の見積書をもって申し込みをした者を契約の相手方とします。

3 件名リスト

一連 番号	件 名	納入（履行） 場所	納期 （履行期限）	見積依頼書 公表日	見積書 提出期限	見積合わせの 日時	防衛省競争 参加資格	備 考
27	空調機保守点検（暖房イン）ほか5件	湯布院駐屯地	R8.11.27	R8.9.16	R8.9.29	R8.9.29 1000	なし	落札判定方式 品目別総額
	以下余白							

4 仕様書の交付場所、契約条項等を示す場所、問合せ先及び提出先

〒879-5102

住所
契約機関名（担当）
電話番号（内線）

大分県由布市湯布院町川上941 陸上自衛隊湯布院駐屯地
第404会計隊湯布院派遣隊 契約班 担当：梅原
TEL：0977-84-2111（内線348） FAX：0977-84-2117（直通）
C01D8228@inet.gsdf.mod.go.jp

見 積 依 頼 書

分任契約担当官
陸上自衛隊湯布院駐屯地
第404会計隊湯布院派遣隊長 長谷川 昭祐

以下のとおり見積を依頼します。

1 見積依頼

契約実施計画番号		調 達 要 求 番 号		物 品 番 号		仕 様 書 番 号		
6S721UT02120、		6SS01AZ0179 0001						
品 名 または 件 名								
食堂空調機保守点検（暖房イン） ほか5件、								
部 品 番 号 または 規 格								
仕様書のとおり、								
使 用 器 材 名								
数 量	単位	銘 柄		使 用 期 限 等	グ ル ー プ	指定	検査	包装
1.00	ST							
納地または工事場所				引 渡 場 所				
～湯布院駐屯地				湯布院駐業管理科				
搬 入 場 所				納 期 または 工 期				
営繕班 ボイラー 田吹技官 337				令和8年11月27日（金）				

上記項目を含む要求品目の内容については、品目等内訳書に記載する。

2 契約条項を示す場所

陸上自衛隊 第404会計隊湯布院派遣隊事務室

3 説明会及び提出の日時場所

説明会日時場所：

提出日時場所：令和8年9月16日（水）10時00分 会計隊湯布院派遣隊オープンカウンター方式

4 決定方式及び契約方式

決定方式：品目別総額 契約方式：随意契約

5 注意事項

(1) 実施要領について

陸上自衛隊オープンカウンター方式実施要領による。

(2) オープンカウンター方式実施要領及び件名リストの掲示場所及びホームページ：湯布院駐屯地、

https://www.mod.go.jp/gsdf/wae/info/nyusatu/wa-fin/open/open_404_yu.html

(3) 見積書の提出方法

上記3の提出日時場所に記載する日時までに見積書を提出して下さい。（FAX提出可原本不要）

(4) 落札決定方法

予定価格の範囲内であり、品目別総額（消費税抜き）により決定する。

(5) 契約相手方の決定通知

契約相手方へのみ、見積合せ日の翌日までに発注書等のFAXにて通知します。

(6) 契約書作成の要否

ア 契約書の作成の要否については落札者にその都度連絡する。作成する場合については、落札決定後、「駐屯地用標準契約（請書）書の様式により作成する。

イ 適用する契約条項

「役務請負契約条項」

「談合等の不正行為に関する特約条項」

「暴力団排除に関する特約条項」

(7) その他

ア 申込については、令和8年9月28日（月）15時00分までに連絡をすること。

イ 申込者については、市場価格の調査を実施します。令和8年9月28日（月）15時00分までに提出をお願い致します（FAX可）。様式については、各社様式又は品目等内訳書の単価等に記入し、記名すること。

また、落札決定方式が品目別総額なので落札可能な品目に単価・金額の記入をお願いいたします。

ウ 品名（件名）、規格に誤りがあった場合は、その都度申込者に連絡します。

エ 9月24日、25日は担当者が不在しております。

(8) 契約事項に関する問い合わせ先

〒879-5102 大分県由布市湯布院町川上941番地

陸上自衛隊湯布院駐屯地 第404会計隊湯布院派遣隊 契約班 担当者 梅原

TEL 0977-84-2111(内線348) FAX 0977-84-2117(直通)

c01d8228@inet.gsdf.mod.go.jp

品 目 等 内 訳 書

契約実施計画番号				6S721UT02120															
NO	調達要求番号		物品番号		単位		数量		単 価	金 額	銘 柄		納 地		指 定				
	品 名										使用期限等		引 渡 場 所		検 査				
	部品番号 または 規格																		
	使用器材名							仕様書番号			グ ル ー プ		納 期		包 装				
1	6SS01AZ0179	0001			ST		1.00					湯布院駐屯地							
	食堂空調機保守点検（暖房イン）											湯布院駐業管理科							
	仕様書のとおり											営繕班 ボイラー 田吹技官 337							
												令和8年11月27日							
2	6SS01AZ0180	0001			ST		1.00					湯布院駐屯地							
	真空式温水ボイラー洗缶											湯布院駐業管理科							
	仕様書のとおり											営繕班 ボイラー 田吹技官 337							
												令和8年11月27日							
3	6SS01AZ0181	0001			ST		1.00					湯布院駐屯地							
	空調機保守点検（暖房イン）											湯布院駐業管理科							
	仕様書のとおり											営繕班 ボイラー 田吹技官 337							
												令和8年11月27日							
4	6SS01AZ0182	0001			ST		1.00					湯布院駐屯地							
	簡易貫流ボイラー洗缶											湯布院駐業管理科							
	仕様書のとおり											営繕班 ボイラー 田吹技官 337							
												令和8年11月27日							
5	6SS01AZ0183	0001			ST		1.00					湯布院駐屯地							
	整備工場ボイラー洗缶											湯布院駐業管理科							
	仕様書のとおり											営繕班 ボイラー 田吹技官 337							
												令和8年11月27日							
6	6SS01AZ0184	0001			ST		1.00					湯布院駐屯地							
	S A C O施設空調機保守点検（暖房イン）											湯布院駐業管理科							
	仕様書のとおり											営繕班 ボイラー 田吹技官 337							
												令和8年11月27日							
	- 以 下 余 白 -																		

食堂空調機保守点検(暖房イン)

件 名	食堂空調機保守点検(暖房イン)							
図 面				図面番号	1/3			
縮 尺				年 月 日	令和 8 年 8 月 3/日			
業 務 隊 長	管理科長	営繕班長	工事企画係長	管財係	施設係	企画係	係 長	係
								
陸 上 自 衛 隊 湯 布 院 駐 屯 地 業 務 隊								

仕 様 書

1 件 名：食堂空調機保守点検（暖房イン）

2 実施場所：大分県由布市湯布院町川上941
陸上自衛隊湯布院駐屯地

3 概 要：空調機の保守点検（暖房イン）

4 一般事項

- 本保守点検は、仕様書によるほか、「建築保全業務共通仕様書」及び、各製造メーカーの機器取扱要領により実施するものとする。
- 請負業者は、契約後速やかに作業実施日を係官と調整を行い工程表等を提出して、係官の承認を受けるものとする。
- 本保守点検の実施に際し、仕様書及び作業中疑義を生じた場合は、係官と協議し実施するものとする。
- 本仕様書に明記なき事項で、技術的に当然必要な事項及び異常を発見した場合は、その原因を究明し、軽微な作業については、請負業者により点検修理を実施するものとする。
- 本保守点検作業中に、作動不良及び運転不能等緊急な修理（過大な部品交換等を必要とする場合等）が発見された場合は、速やかに係官に連絡し指示を受けるものとする。
- 作業中の安全確保には十分留意して現場管理を行うとともに、火災等の災害及び事故に注意する。また、必要に応じて養生等の処置を行うものとする。
- 作業以外の施設等には、損傷を与えないよう十分注意をして作業すること。万一、損傷を与えた場合には係官に報告し、原因が本作業にかかわると認められた場合、請負業者が賠償及び補償の責を負うものとする。
- 本作業の写真はカラーとし、作業状況を撮影し、アルバム（A4版）に整理する。
- 現場において、指定された以外への立入及び火気の使用は禁止する。
- 部隊側の電気・水道等を使用する場合は、係官の承認を受けた後使用し、その後料金を負担すること。
- 本保守点検を実施した際、「保守点検報告書」を作成して1部提出するものとする。
- 外国人の入門には部隊側が示す様式により申請が必要であり、許可を受けた者のみ入門可能とする。また、部隊側の手続き上、許可までに2～3か月期間を要する。
- 本保守点検は、令和8年10月26日（月）までに実施するものとする。

5 保守点検機器の型式及び数量

場 所	機 器 名	型 式	数 量
食 堂	小型吸収式冷温水機	矢崎 CH-KG60STU33	2基
	冷温水ポンプ	エバラ 65×50 FS2E 63.7	2台

6 保守点検内容

(1) 吸収式冷温水機

点 検 項 目	点 検 及 び 保 守 内 容
1 基礎・固定部	① き裂・沈下等の異常の有無を点検する。 ② 固定金具の劣化、固定ボルトの緩みを点検する。緩みがある場合増し締めをする。
2 外観状況	
(1) 本体及び付属	腐食・変形・破損等の劣化の点検をする。劣化が軽微な場合は補修する。
(2) 温度計及び圧力計	計装部品の損傷及び脱落の有無を点検する
3 温水系統	① 出口及び入口の圧力損失が規定値にあることを確認する。 規定値にない場合は調整する。
4 気密確認	② 温水の各水室部に水漏れがないことを確認する。 水漏れがある場合は補修する。
5 真空引き	シーズンオフ点検時の機内圧力の降下有無を点検する。 抽気ポンプを用いて機内を所定の圧力にまで抽気する。
6 電気系統	
(1) 絶縁抵抗	操作回路、密閉ポンプ、抽気ポンプ等の絶縁抵抗を500Vの絶縁抵抗計を用いて測定し、その値が1MΩ以上あることを確認する。但し、低電圧回路(24V)以下は除外する。
(2) 端子	緩み、変色及び破損の有無を点検する。緩みがある時は増し締めする。
(3) タイマー	起動制限、遅延、その他のタイマーが規定値で作動することを確認する。
(4) サーマルリレー	作動不良の場合は、調整する。 キャンドポンプ及び抽気ポンプ用サーマルリレーの規定値を確認する。

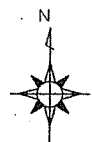
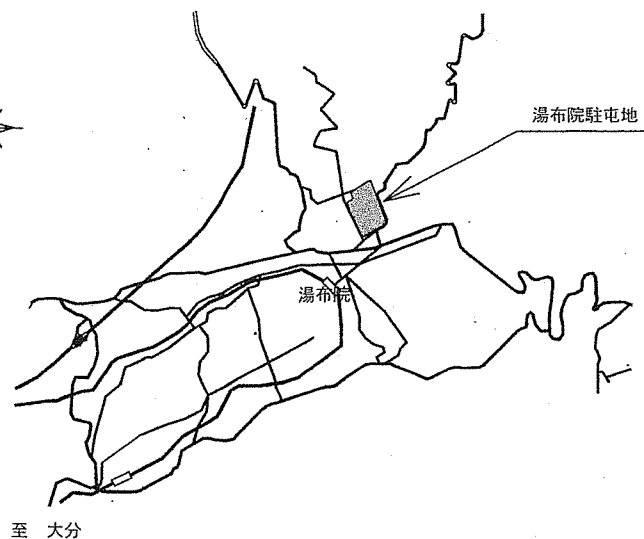
(1) 吸収式冷温水機

点 検 項 目	点 検 及 び 保 守 内 容
7 保安装置	
(1) 保護スイッチ	冷水過冷却及び断水、液面リレー及び高温再生器圧力その他スイッチの作動(実作動が困難な場合は疑似回路による)の良否を点検する。 作動不良の場合は、調整する。
(2) インターロック	冷温水ポンプ、その他のインターロックの作動の良否を点検する。 作動不良の場合は、調整する。
8 運転調整	
(1) 音及び振動	異常のないことを確認する。
(2) 電流及び電圧	① 運転時に、主電源電圧の変動が±10%以内にあることを確認する。 ② 運転電流が確定の110%以下であることを確認する。
(3) 熱源	① 電動機の回転方向が正回転であることを確認する。 供給蒸気の1次圧力が既定の許容範囲内にあることを確認する。
(4) 熱交換器	② 蒸気トラップの分解整備 ① 温水の入口温度と出口温度、溶液温度、溶液濃度、凝縮温度、 蒸発温度等を測定し、その値が許容範囲内であることを確認する。 ② 非凝縮ガスの混入及び冷却管の汚れの有無を点検する。
9 真空気密	パラジウムセル部の焼損及び劣化度を確認する。
10 冷媒及び吸収剤	① 攪拌した溶液を適量採取し、腐食防止剤濃度及びアルカリ度が既定の 許容範囲内にあることを確認する。 ② 溶液に汚れのないことを確認する。
11 機器用水質	ストレーナ、ダートポケット等の水回路の水洗いを2回以上行う。

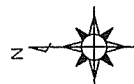
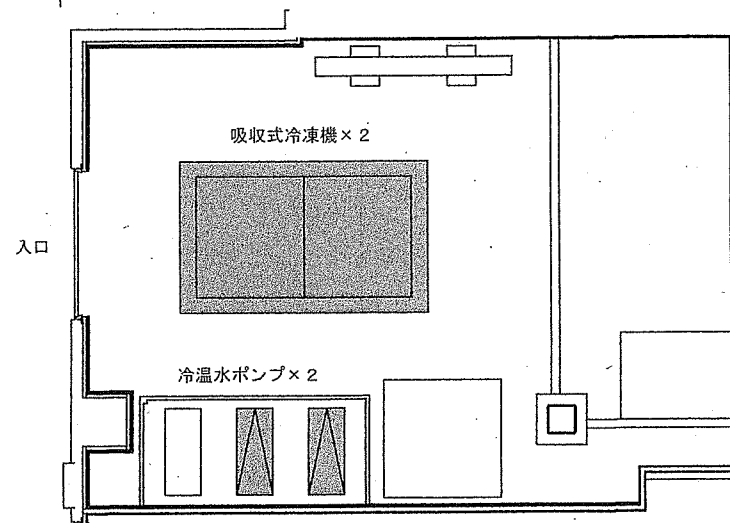
(2) ポンプ

点 検 項 目	点 検 及 び 保 守 内 容
1 基礎・固定部	① 固定金具の劣化、固定ボルトの緩みを点検する。 緩みがある場合は増し締めする。 ② 防振材、ストッパー等の劣化、緩みの有無を点検する。 緩みがある場合は増し締めする。
2 本体	① 腐食、損傷及び漏洩の有無を点検する。 ② 軸継手ゴム(ベルト)の損傷等の劣化の有無を点検する。 ③ 軸継手の芯狂いが許容範囲内にあることを確認する。 芯狂いが著しい場合は調整する。
3 電動機	④ 主電源電圧の変動が運転時に定格電流の±10%以内にあることを確認する。 ⑤ 運転電流が定格値以下にあることを確認する。 ⑥ ポンプ吸入圧力及び吐出圧力が許容範囲内にあることを確認する。
4 制御機器	① 腐食及び損傷の有無を確認する。 ② 円滑に回転することを確認する。 ③ 回転方向が正回転であることを確認する。 ④ 絶縁抵抗を測定し、その値が1MΩ以上であることを確認する。
(1) 制御盤	① 電磁開閉器の接点の劣化の有無を点検する。
(2) 真空開閉器	② 表示ランプの点灯の良否を点検する。点灯不良の場合は交換する。
(3) 電磁弁装置	水位開閉器 作動の良否を点検する。

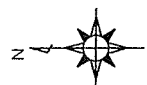
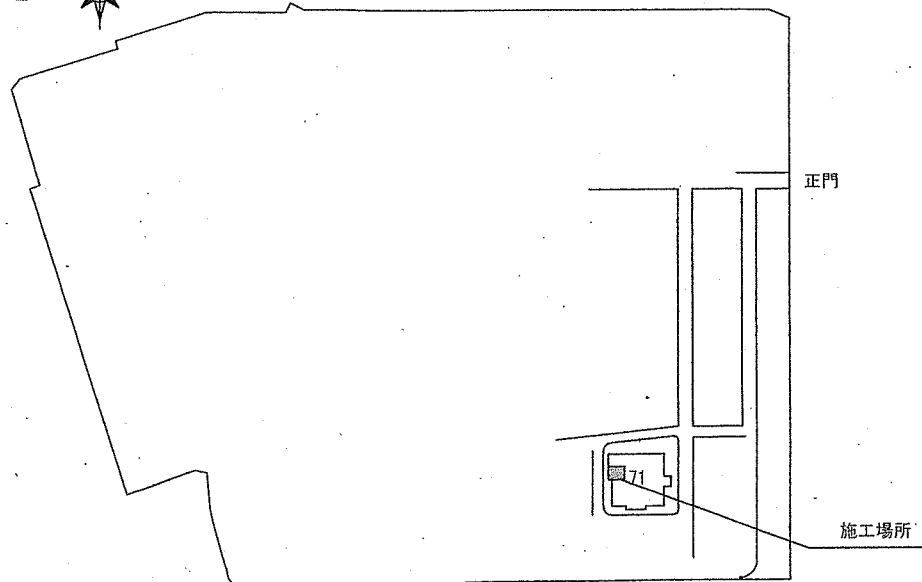
件 名	食堂空調機保守点検（暖房イン）		
図 面	仕 様 書	図 面 番 号	2 / 3
縮 尺		年 月 日	令和 8 年 8 月 7 日
陸 上 自 衛 隊 湯 布 院 駐 屯 地 業 務 隊			



案内図



機械室配置図



駐屯地配置図

件名	食堂空調機保守点検（暖房イン）		
図面	案内図・配置図	図面番号	3 / 3
縮尺		作成年月日	令和 8 年 8 月 31 日
陸上自衛隊湯布院駐屯地業務隊			

件 名	真 空 式 温 水 ボ イ ラ ー 洗 缶							
図 面				図面番号	1 / 4			
縮 尺				年 月 日	令和 8 年 9 月 8 日			
業 務 隊 長	管理科長	営繕班長	工事企画係長	管財係	施設係	企画係	係 長	係
陸 上 自 衛 隊 湯 布 院 駐 屯 地 業 務 隊								

仕 様 書

1 件 名：真空式温水ヒーター洗缶

2 実施場所：大分県玖珠郡玖珠町日出生
陸上自衛隊日出生台演習場

3 概 要：KFL-630AH屋外真空式温水機の洗缶整備を実施する。

4 一般事項

- (1) 本作業は、仕様書によるほか「建築保全共通仕様書」及びメーカーの「機器点検清掃調整要領」に基づいて作業するものとする。
- (2) 本作業の写真はカラーとし、作業状況を撮影し、アルバム(A4版)に整理し、1部提出する。
また、デジタルカメラも使用できるものとし大きさはサービス版相当とする。
- (3) 請負業者は、契約後速やかに作業実施日を係官と調整を行い、工程表等を提出して係官の承認を受けるものとする。
- (4) 本仕様書・図面に記載なき事項については係官と調整をし当然実施すべき事項は、請負業者の責任において実施するものとする。また、作業上軽微なもので当然必要と思われる事項においても同様とする。
- (5) 作業中の安全確保には十分留意して現場管理を行うとともに、火災等の災害及び事故に注意する。
また、必要に応じて養生等の処置を行うものとする。
- (6) 作業以外の施設には、損傷を与えないよう十分注意をして施工すること。万一、損傷を与えた場合には係官に報告し、原因が本作業に関わると認められた場合、請負業者が賠償及び補償の責を負うものとする。
- (7) 現場において、指定された以外への立入及び火気の使用は禁止する。
- (8) 作業中に発生したスス・ゴミ等は請負業者の責任において処分するものとする。また、現場は常に清潔にし、片付け清掃をその都度実施すること。
- (9) その他疑義が生じた場合は、係官と協議の上実施するものとする。
- (10) 部隊側の電気・水道等を使用する場合は、係官の承認を受けた後使用し、その後料金を負担すること。
- (11) 外国人の入門には部隊側が示す様式により申請が必要であり許可を受けた者のみ入門可能とする。また、部隊側の手続き上、許可までに2～3か月の期間を要する。
- (12) 本洗缶は、令和8年10月31日(土)までに実施するものとする。

5 真空式温水機諸元

- ・型式：KFL-630AH真空式温水機(日本サーモエナー社製)
- ・最高使用圧力：0.49MPa
- ・オイルバーナー形式：ウインドボックス型油圧噴霧式
- ・伝熱面積：13.5㎡
- ・熱交換型及び材料：ボイラ熱交換器用ステンレス製(フランジ式)
- ・使用燃料：A重油(1種2号)

6 洗缶箇所及び整備要領

(1) 洗缶箇所

- ア 燃焼室及び伝熱面
- イ 送風機・ポンプ・ストレーナ・煙道
- ウ 制御安全装置・燃焼調整

(2) 整備要領

- オ 作業実施前を準備の部品及び部品作業員の必要条件を備え燃焼室内作業要領規則に従って整備を厳格にすること。
危害予防に十分注意して作業を実施すること。

ウ必清浄時に突進性腐蝕等異常と変調又燃焼室腐蝕等発生した場合直ちに係官に報告し整備を中止し整備終了後とする。
エ 図面に示すバーナ口及び清掃口を開放し、火室内、煙管及びパッフルプレート等の外部清浄作業を行い

細部詳細については、係官より指示する。

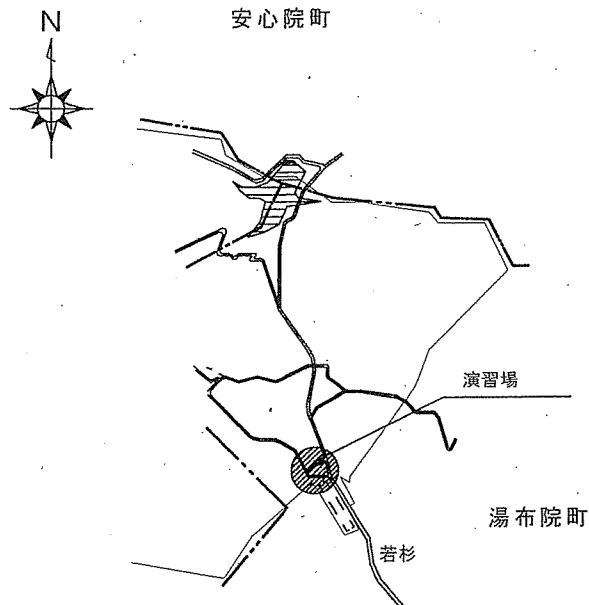
7 検 査

分解開放整備後、直ちに係官の中間検査を受けること。その際、付着物等再仕上げを要すると指摘された部分は遅滞なく再清浄を行うこと。又、本整備が完了した後に完成検査を受けるものとする。

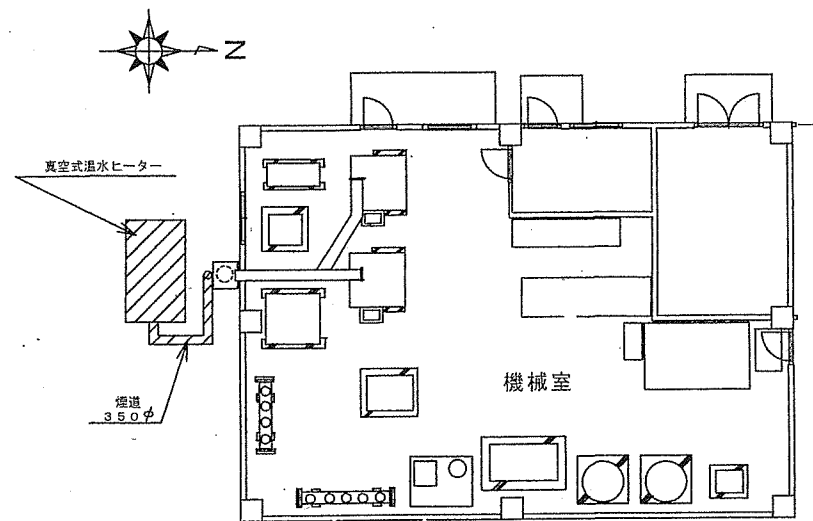
8 その他

- (1) この仕様書の規定外の不明事項については、係官の指示によるものとする。
- (2) 本作業については終了後、「洗缶整備結果報告書」を作成し、1部提出するものとする。
- (3) 耐熱塗装とは、「黒」及び「シルバー」の塗料とする。
- (4) 定期交換部品のパーナノズル(SV-6503-YA-W 6.5G 80°)×2個については官給品とする。

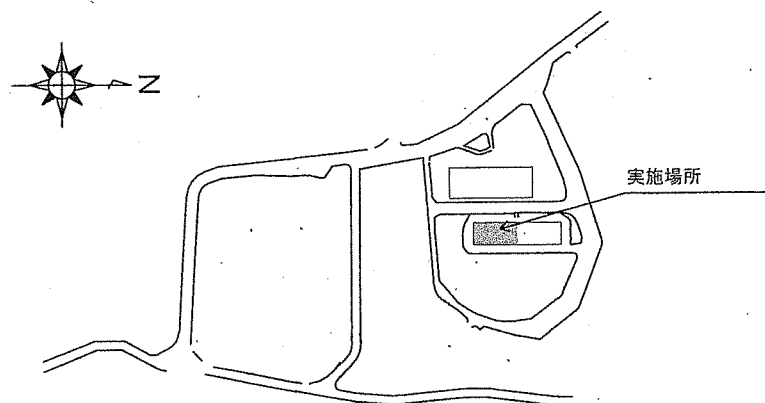
件 名		真空式温水ボイラー洗缶			
図 面		仕 様 書	図 面 番 号		2 / 4
縮 尺			年 月 日	令和 8 年 9 月 8 日	
陸 上 自 衛 隊 湯 布 院 駐 屯 地 業 務 隊					



案内図

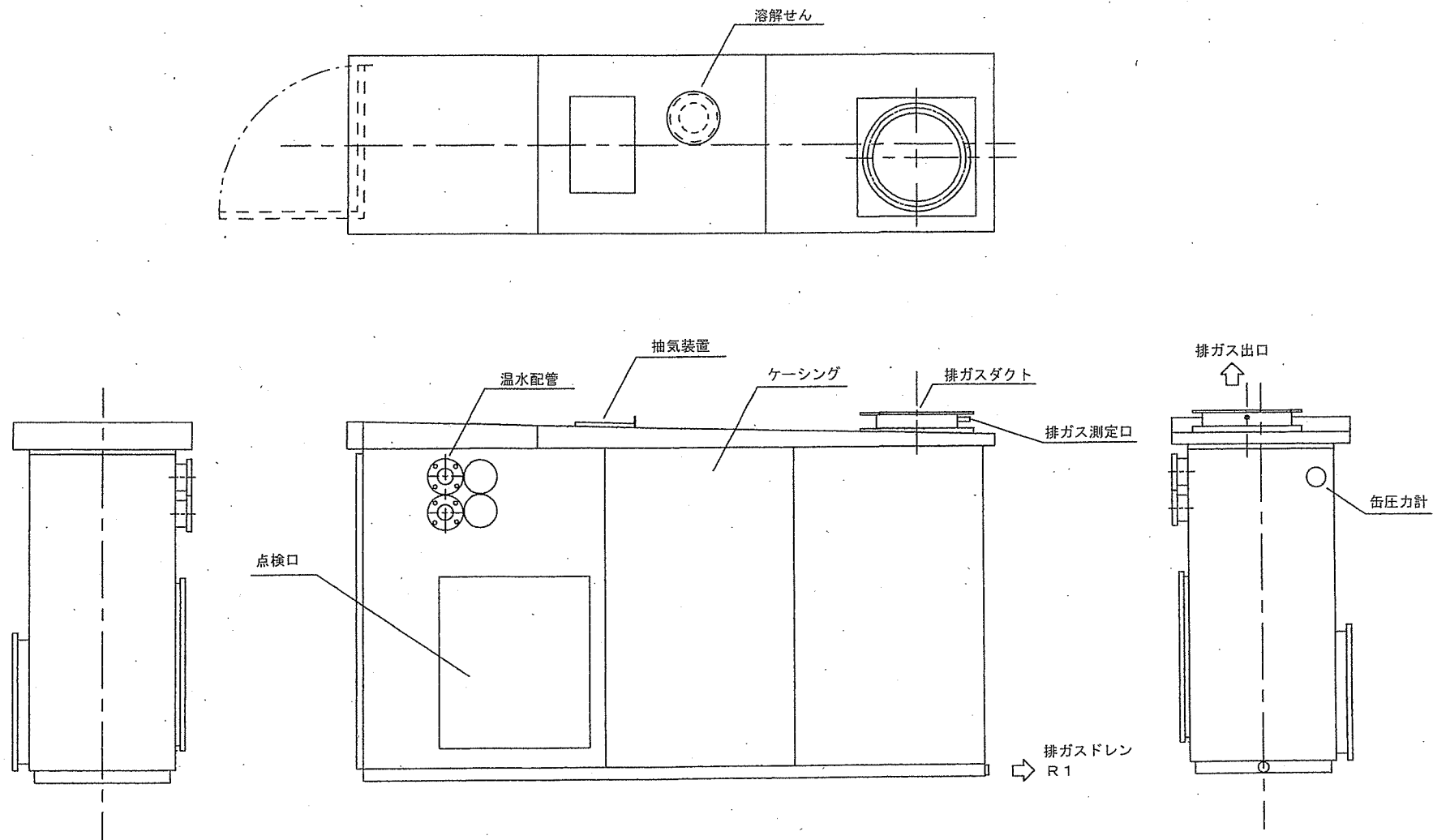


機械室平面図



演習場配置図

件名	真空式温水ボイラー洗缶		
図面	案内図・配置図	図面番号	3/4
縮尺		作成年月日	令和 8 年 7 月 8 日
陸上自衛隊湯布院駐屯地業務隊			



件名	真空式温水ボイラー洗缶		
図面	本体図	図面番号	4 / 4
縮尺		作成年月日	令和 8 年 7 月 8 日
陸 上 自 衛 隊 湯 布 院 駐 屯 地 業 務 隊			

空調機保守点検（暖房イン）

件名	空調機保守点検(冷房イン)							
図面	仕 様 書							
縮尺	一	作成年月日	令和 8 年 9 月 8 日				図面番号	1/7
業務隊長	管理科長	営繕班長	施設管理係	管財	工事企画係	電気係長	ボイラー係長	係
								
湯布院駐屯地業務隊								

仕 様 書

- 1 件 名 : 空調機保守点検 (暖房イン)
- 2 場 所 : 大分県由布市湯布院町川上941
陸上自衛隊湯布院駐屯地
- 3 概 要 : 本部隊舎等における空調機の保守点検 (暖房イン)
- 4 一般事項 :

- (1) 本保守点検は、本仕様書によるほか「建築保全業務共通仕様書」及び、各製造メーカーの機器取扱要領により実施するものとする。
- (2) 本保守点検の実施に際し、仕様書及び保守点検中疑義を生じた場合は、係官と協議し実施するものとする。
- (3) 本仕様書に明記なき事項で、技術的に当然必要な事項及び異常を発見した場合は、その原因を究明し軽微な故障等については請負業者により点検修理を実施することとする。また110号隊舎空冷ヒートポンプチラーユニット (RHGP1800AVP) 1台については、現在、COMP4コンプレッサーを切り離し、COMP1～COMP3による3台運転を行っていることから、保守点検と併せて、過去に発生した警報、異常履歴、運転履歴等を確認し、異常原因の究明をおこなうこと。原因究明にあたっては、必要に応じてメーカーのサービス用診断機器及びサービス技術情報等を使用し、当該機器に精通した技術者による詳細な診断を行うこと。なお、原因究明の結果、修繕部品交換等が必要と判断された場合は、修繕内容、交換部品、数量、作業内容及び費用等を明記した見積書を原因調査結果と併せて提出すること。
- (4) 本保守点検実施中に、作動不良及び運転不能等緊急な修理 (過大な部品交換等を必要とする機器等) が発見された場合は、速やかに係官に連絡し指示を受けるものとする。
- (5) 本保守点検に際し、実施範囲以外の箇所に損傷を与えないように十分注意するものとする。万一損傷を与えた場合は、速やかに係官に報告すると共に、請負業者の責任において現状に復旧するものとする。
- (6) 部隊側の電気及び水を使用する場合は、係官の承認を受けた後使用し、その後料金を負担するものとする。
- (7) 本保守点検に際しては、工程表を提出するものとする。作業日時については、事前に協議して決定する事。
- (8) 本保守点検の作業写真は、各機器・各工程ごと及び監督官の指示する箇所をカメラ (カラー) 等を使用して撮影し、工事写真帳 (A4判) に整理して1部提出するものとする。
- (9) 本保守点検を実施した際、保守点検報告書を整理して1部提出するものとする。
- (10) 本保守点検の実施にあたっては、危険防止に必要な場所及び箇所を係官に報告し、安全処置を講じ、事故発生を防止するものとする。
- (11) 本保守点検において、冷媒フロン類取扱技術者等の十分な知見を有する者が実施すること。尚、資格者免状の写しを1部提出するものとする。

- (12) 本作業に際し、外国人の入場には部隊側が示す様式により申請が必要であり、許可を受けた者のみ入場可能とする。また、部隊側の手続き上、許可までに一定の期間を要する。
- (13) 本保守点検及び試運転を、令和8年10月26日までに完了させるものとする。

5 保守点検機器の型式

水冷チリングユニット

場 所	品 名	型 式	数 量	備 考
生活隊舎 (104号)	空冷チラー	東芝 RUA-UP511HL	2	
	冷温水ポンプ	エバラ 5.5KW	2	
生活隊舎 (110号)	空冷チラー	日立 RHGP1800AVP	2	
	冷温水ポンプ	エニツ内臓 2.2KW	2	

空冷ヒートポンプ

場 所	品 名	型 式	数 量	備 考
整備工場 (107号)	室外ユニット	日立 RAS-AP500SGR	1	ACPM-1
		日立 RAS-AP280SGR	1	ACPM-2
	室内ユニット	日立 RCI-GP56KA (天井埋込型)	2	ACPM1-1
		日立 RCI-GP56KA (天井埋込型)	2	ACPM1-2
		日立 RCI-GP63KA (天井埋込型)	2	ACPM1-3
		日立 RCI-GP63KA (天井埋込型)	3	ACPM2-1
警衛所 (116号)	室外ユニット	日立 RAS-AP335SGR	1	ACP1
	室内ユニット	日立 RCI-GP56K3 (天井埋込型)	1	ACP1-1
		日立 RCI-GP56K2 (天井埋込型)	1	ACP1-2
		日立 RCI-GP40K2 (天井埋込型)	1	ACP1-3
		日立 RCI-GP36K3 (天井埋込型)	1	ACP1-4
		日立 RCI-GP45K3 (天井埋込型)	1	ACP1-5
		日立 RCI-GP36K2 (天井埋込型)	1	ACP1-6
		日立 RCI-GP22K2 (天井埋込型)	2	ACP1-7、8

場 所	品 名	型 式	数 量	備 考
倉庫 (134号)	パッケージ型空調機 室外ユニット	日 立 RAS AP160HN	2	
	室外ユニット	日 立 RPC-AP80K5 (天井吊型)	4	高所取付

件 名	空調保守点検 (暖房イン)				
図 面	仕様書				
縮 尺	—	作成年月日	令和 8 年 9 月 8 日	図面番号	2 / 6
陸 上 自 衛 隊 湯 布 院 駐 屯 地					

仕 様 書

5 保守点検機器の型式

空冷ヒートポンプ

場 所	品 名	型 式	数 量	備 考
整 備 場 (69号)	室外ユニット	三菱電機 PUZ-ERP224KA13	1	ACP1
		日立 RAS-GP280RGH2	1	ACP1
		日立 RAS-GP160RGH2	1	ACP2
		日立 RAS-GP280RGH2	1	ACP3
	室内ユニット	三菱電機 PC-RP224CA16 (天井吊型)	1	ACP1
		日立 RPC-GP280RGH5 (天井吊型)	1	ACP1
		日立 RPC-GP160RGH7 (天井吊型)	1	ACP2
		日立 RPC-GP280RGH5 (天井吊型)	1	ACP3

場 所	品 名	型 式	数 量	備 考
整 備 場 (112号)	室外ユニット	日立 RAS-GP112RSH2	1	ACP1
		日立 RAS-P80H1	1	ACP2
		日立 RAS-P112HZ1	1	ACP3
	室内ユニット	日立 RCI-GP56K3 (天井埋込型)	2	ACP1-1、2
		日立 RCI-NP80K (天井埋込型)	1	ACP2-1
		日立 RCI-NP50K (天井埋込型)	1	ACP3-1
		日立 RCI-NP28K (天井埋込型)	1	ACP3-2

場 所	品 名	型 式	数 量	備 考
食 厨 事 務 室 (120号)	氷蓄熱ビル用 室外ユニット	ダイキン RSYF355P (氷蓄熱用)	1	ACP1
	氷蓄熱ユニット	ダイキン TS5P560P	1	ACP1
	室内ユニット	ダイキン FXYFP71MC9 (天井埋込型)	1	ACP1-1
		ダイキン FXYFP45MC9 (天井埋込型)	1	ACP1-2
		ダイキン FXYFP56MC (天井埋込型)	1	ACP1-3
		ダイキン FXYFP36MC (天井埋込型)	1	ACP1-4

空冷ヒートポンプ

場 所	品 名	型 式	数 量	備 考
厚 生 セ ン タ ー (103号)	室外ユニット	日立 RAS-GP80RGH2	1	ACP1
		日立 RAS-GP112RGH2	2	ACP2
		日立 RAS-GP40RGH2	1	ACP3
		日立 RAS-GP160RGH2	1	ACP4
		日立 RAS-GP112RGH2	1	ACP5
		日立 RAS-GP160RGH2	1	ACP6
		日立 RAS-GP112RGH2	1	ACP7
		日立 RAS-GP140RGH2	2	ACP8
		日立 RAS-GP160RGH2	1	ACP9
		日立 RSP140F	1	ACP10
		日立 RAS-GP224RGH2	1	ACP11
		日立 RAS-GP112RGH2	2	ACP12
		日立 RAS-GP140RGH2	2	ACP13
		日立 RAS-GP50RGH2	1	ACP14
		日立 RAS-GP280RGH2	1	ACP15
		日立 RAS-GP63RGH2	1	ACP16
		日立 RAS-GP63RGH2	1	ACP17
	室内ユニット	日立 RCI-GP80KA (天井埋込型)	1	ACP1-1
		日立 RPC-GP56KA (天井吊型)	4	ACP2-1~4
		日立 RCI-GP40KA (天井埋込型)	1	ACP3-1
		日立 RCI-GP80KA (天井埋込型)	2	ACP4-1.2
		日立 RCI-GP112KA (天井埋込型)	1	ACP5-1
		日立 RCI-GP80KA (天井埋込型)	2	ACP6-1.2
		日立 RCI-G112KA (天井埋込型)	1	ACP7-1
		日立 RCI-GP63KA (天井埋込型)	4	ACP8-1~4
		日立 RCI-GP80KA (天井埋込型)	2	ACP9-1.2
		日立 SSDP140FA (埋込スリット型)	2	ACP10-1
		日立 RCI-GP80KA (天井埋込型)	3	ACP11-1~3
		日立 RCI-GP56KA (天井埋込型)	4	ACP12-1~4
		日立 RPC-GP63KA (天井吊型)	4	ACP13-1~4
		日立 RPI-GP50KA (天井埋込型)	1	ACP14-1
		日立 RCI-GP140KA (天井埋込型)	1	ACP15-1.2
		日立 RCI-GP63KA (天井埋込型)	1	ACP16-1
		日立 RCI-GP63KA (天井埋込型)	1	ACP17-1

件 名	空調保守点検 (暖房イン)				
図 面	仕様書				
縮 尺	—	作 成 年 月 日	令和 8 年 8 月 7 日	図面番号	3 / 6
陸 上 自 衛 隊 湯 布 院 駐 屯 地					

仕 様 書

5 保守点検機器の型式

空冷ヒートポンプ

場 所	品 名	型 式	数 量	備 考
生 活 隊 舎 (96号)	室外ユニット	日立 RAS-AP280TG	1	ACPM1
		日立 RAS-AP224TG	1	ACPM2
		日立 RAS-AP224TG	1	ACPM3
		日立 RAS-AP335TG	1	ACPM4
		日立 RAS-AP400TG	1	ACPM5
		日立 RAS-AP280TG	1	ACPM6
		日立 RAS-AP224TG	1	ACPM7
		日立 RAS-AP224TG	1	ACPM8
		日立 RAS-AP224TG	1	ACPM9
		日立 RAS-AP224TG	1	ACPM10
	室内ユニット	日立 RPC-GP50KA (天井吊型)	1	ACPM1-1
		日立 RPC-GP40KA (天井吊型)	1	ACPM1-2
		日立 RPC-GP71KA (天井吊型)	1	ACPM1-3
		日立 RPC-GP36KA (天井吊型)	2	ACPM2-1. 2
		日立 RPC-GP63KA (天井吊型)	1	ACPM2-3
		日立 RPC-GP45KA (天井吊型)	1	ACPM3-1
		日立 RPC-GP36KA (天井吊型)	1	ACPM3-2
		日立 RPC-GP71KA (天井吊型)	1	ACPM3-3
		日立 RPC-GP56KA (天井吊型)	1	ACPM4-1
		日立 RPC-GP40KA (天井吊型)	1	ACPM4-2
		日立 RPC-GP36KA (天井吊型)	1	ACPM4-3
		日立 RPC-GP71KA (天井吊型)	1	ACPM4-4
		日立 RPC-GP80KA (天井吊型)	1	ACPM5-1
		日立 RPC-GP63KA (天井吊型)	1	ACPM5-2
		日立 RPC-GP90KA (天井吊型)	1	ACPM5-3
		日立 RPC-GP56KA (天井吊型)	1	ACPM6-1
		日立 RPC-GP40KA (天井吊型)	1	ACPM6-2
		日立 RPC-GP80KA (天井吊型)	1	ACPM6-3
		日立 RPC-GP40KA (天井吊型)	1	ACPM7-1
		日立 RPC-GP36KA (天井吊型)	1	ACPM7-2
		日立 RPC-GP63KA (天井吊型)	1	ACPM7-3
		日立 RPC-GP50KA (天井吊型)	1	ACPM8-1
		日立 RPC-GP36KA (天井吊型)	1	ACPM8-2
		日立 RPC-GP71KA (天井吊型)	1	ACPM8-3
		日立 RPC-GP56KA (天井吊型)	1	ACPM9-1
		日立 RPC-GP90KA (天井吊型)	1	ACPM9-2
		日立 RPC-GP50KA (天井吊型)	1	ACPM10-1
		日立 RPC-GP40KA (天井吊型)	1	ACPM10-2
		日立 RPC-GP71KA (天井吊型)	1	ACPM10-3

空冷ヒートポンプ

場 所	品 名	型 式	数 量	備 考
生 活 隊 舎 (96号)	室外ユニット	日立 RAS-GP80RGH2	1	ACP1
		日立 RAS-GP50RGH2	1	ACP2
		日立 RAS-GP112RGH2	1	ACP3
		日立 RAS-GP80RGH2	1	ACP4
		日立 RAS-GP63RGH2	1	ACP5
		日立 RAS-GP112RGH2	1	ACP6
		日立 RAS-GP80RGH2	1	ACP1
		日立 RAS-GP112RGH2	1	ACP2
		日立 RAS-GP224RGH2	1	ACP3
		日立 RAS-GP80RSH3	1	ACP4
		日立 RAS-GP112RGH2	1	ACP5
	室内ユニット	日立 RPC-GP80KA (天井吊型)	1	ACP1-1
		日立 RPC-GP50KA (天井吊型)	1	ACP2-1
		日立 RPC-GP112KA (天井吊型)	1	ACP3-1
		日立 RPC-GP80KA (天井吊型)	1	ACP4-1
		日立 RPC-GP63KA (天井吊型)	1	ACP5-1
		日立 RPC-GP112KA (天井吊型)	1	ACP6-1
		日立 RPC-GP80KA (天井吊型)	1	ACP1-1
		日立 RPC-GP112KA (天井吊型)	1	ACP2-1
		日立 RPC-GP224KA (天井吊型)	1	ACP3-1
		日立 RPC-GP80KA (天井吊型)	1	ACP4-1
		日立 RPC-GP112KA (天井吊型)	1	ACP5-1

件 名	空調保守点検 (暖房イン)				
図 面	仕様書				
縮 尺	—	作成年月日	令和 8年 8月31日	図面番号	4 / 6
陸 上 自 衛 隊 湯 布 院 駐 屯 地					

仕 様 書

6 保守点検内容

チリングユニット

点 検 項 目	点 検 及 び 保 守 内 容
1 基礎	① き列、沈下等の異常の有無を点検する。 ② 固定金具の劣化、固定ボルトの緩みを点検する。 ③ 防振材、ストッパー等の劣化、緩みの有無を点検する。 緩みがある場合は増締めする。
2 外観状況	腐食、変形、破損等の劣化の有無を点検する。劣化が軽微な場合は補修する。
3 電気系統	
(1) 操作及び動力回路	絶縁抵抗を測定し、その値が1MΩ以上あることを確認する。
(2) 端子	緩み、変色及び破損の有無を点検する。緩みのある場合は、増締めする。
(3) クラッケーヒーター	① 温度の異常の有無を点検する。 ② 絶縁抵抗を測定し、その値が1MΩ以上あることを確認する。
(4) 盤	異物の付着、緩み及び変形の有無を点検するとともに清掃する。 緩み及び変形のある場合は増締め又は補修する。
(5) 電磁開閉器	接点荒れの有無、異音の有無を点検する。
4 圧力計及び安全弁	① 圧力計の指示の狂い及び破損の有無を点検する。 ② 安全弁の漏れの有無及び作動の良否を点検する。
5 冷凍系統	① ガス漏れの有無を点検する。 ② 配管の損傷・接触・摩耗・腐食・へこみ等の劣化の有無を点検する。劣化が軽微の場合は補修する。
6 潤滑油系統	油の漏れの有無及び油量の適否を点検する。汚れが著しい場合は交換する。油量不足の場合は補充する。
7 水系統	① 漏れの有無を点検する。漏れがある場合は補修する。 ② 弁の開閉の良否を点検する。
8 運転調整	
(1) 音及び振動	異常のないことを確認。
(2) 電源電圧及び電流	① 主電源電圧の変動が運転時に定格の±10%以内にあることを確認する。 ② 主電流及び圧縮機電流が定格の110%以下にあることを確認する。
(3) 冷媒ガス	高圧側及び低圧側の圧力、吐出・吸入温度等の冷媒ガスの状態を把握するのに必要な計測を行い、その値が許容範囲内にあることを確認する。
(4) 冷凍機油	油圧、温度等を計測しその値が許容範囲内にあることを確認する。
(5) 熱交換状況	冷媒の液温、冷却水及び冷水の温度を点検し、熱交換状態が正常であることを確認する。
(6) 制御	温度、圧力、容量及びタイマー制御が既定値で確実に作動することを確認する。

チリングユニット

点 検 項 目	点 検 及 び 保 守 内 容
9 保安装置	
(1) 圧力開閉器	設定値で作動することを確認する。作動不良の場合調整する
(2) 吐出ガス温度サモ	作動の良否を点検する。
(3) 断水リレー	作動の良否を点検する。
(4) インターロック	作動の良否を点検する。
(5) 冷水凍結防止サモ	作動の良否を点検する。
(6) 可溶栓	ガス漏れの有無を点検する。

ポンプ

点 検 項 目	点 検 及 び 保 守 内 容
1 基礎・固定部	① 固定金具の劣化、固定ボルトの緩みを点検する。緩みがある場合は増締めする。 ② 防振材、ストッパー等の劣化、緩みの有無を点検する。 緩みがある場合は増締めする。
2 本体	① 腐食、損傷及び漏洩の有無を点検する。 ② 軸継手ゴム（ベルト）の損傷等の劣化の有無を点検する。 ③ 軸継手の芯狂いが許容範囲内にあることを確認する。芯狂いが著しい場合は調整する。 ④ 主電源電圧の変動が運転時に定格電圧の±10%以内にあることを確認する。
3 電動機	⑤ 運転電流が定格値以下にあることを確認する。 ⑥ ポンプの吸入圧力及び吐出圧力が許容範囲内にある事を確認する。
4 制御機器	① 腐食及び損傷の有無を確認する。
(1) 制御盤	② 円滑に回転することを確認する。
(2) 電磁弁装置	③ 回転方向が正回転であることを確認する。
5 フード弁及び逆止弁	④ 絶縁抵抗を測定し、その値が1MΩ以上であることを確認する。
6 圧力計又は真空計	① 電磁開閉器の接点の劣化の有無を点検する。 ② 表示ランプの点灯の良否を点検する。点灯不良の場合は交換する。
	作動の良否を点検する。開閉不良の場合は清掃又は調整する。
	① 腐食及び破損の有無を点検する。
	② 指示値に狂いが無いことを確認する。狂いが著しい場合は調整する。

件 名	空調保守点検（暖房イン）				
図 面	仕様書				
縮 尺	—	作成年月日	令和 8年 8月 7日	図面番号	5/6
陸 上 自 衛 隊 湯 布 院 駐 屯 地					

仕 様 書

6 保守点検内容

氷蓄熱ユニット

点 検 項 目	点 検 及 び 保 守 内 容
1 基礎・固定部	① 亀裂、沈下等の有無を点検する。 ② 固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。 ③ 防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無を点検する。
2 タンク	水漏れ及び外面の錆、腐食、損傷等の有無を確認する。
3 氷生成装置	熱交換器部分の汚れ、破損等の有無を点検する。
4 凍結防止処置 (暖房時のみ)	タンク内の水をすべて空にする。 ユニット内の配管凍結用電熱線の電源を入れる。

室内ユニット

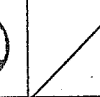
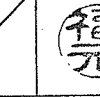
点 検 項 目	点 検 及 び 保 守 内 容
1 外観状況 (1) 本体	① 腐食、変形、破損等の劣化の有無を点検する。劣化が軽微な場合は補修する。 ② 固定金具、固定ボルトの緩み、変形、腐食等を点検する。破損の有無を点検する。破損が軽微な場合は補修する。汚れ、破損等の劣化の有無を点検する。
(2) 保温、吸音材 (3) 吹出グリル 2 送風機 (1) ファンライナ	① 汚れ及び発錆、腐食、変形等の有無を点検、清掃する。 ② 回転バランスの良否を点検する。異常な場合は調整する。
(2) 電動機	① 音、振動等の異常の有無を点検する。 ② 絶縁抵抗を測定その値が1MΩ以上であることを確認 ③ 回転がスムーズであることを確認する。
3 排水系統 (1) ドレンパン (2) ドレン排水	汚れ及び発錆、腐食等の有無を点検、清掃する。 本体のドレン排水確認を行い、支障の無いことを確認する。 支障がある場合は清掃する。
4 エアフィルター (1) ろ材 (2) 枠	汚れ及び損傷等の劣化の有無を点検、清掃する。 損傷等の劣化有無を点検する。
5 電装部品 (1) 電気配線 (2) 接続端子 (3) 操作スイッチ 運転表示灯	損傷、過熱、劣化等の有無を点検する。損傷の場合は補修する。 端子接続の緩みの有無を点検する。 ① 損傷、破損の有無を点検する。 ② 表示灯の点灯状態を確認する。球切れの場合は交換する ③ 風量切り替え等の作動の良否を点検する。
6 運転調整 (1) 熱交換状況	吸入・吹出温度を点検し、熱交換状態が正常であることを確認する。

室外ユニット(空冷ヒートポンプ)

点 検 項 目	点 検 及 び 保 守 内 容
1 基礎、固定部	固定金具の劣化、固定ボルトの緩みを点検する。緩みがある場合は増締めする
2 外観状況	腐食、変形、破損等の劣化の有無を点検する。劣化が軽微の場合は補修する。
3 電気系統 (1) 操作及び動力回路 (2) 端子 (3) 電磁開閉器 4 冷媒系統	絶縁抵抗を測定その値が1MΩ以上であることを確認、緩み変色及び破損の有無を点検する、緩みのある場合は増締めする。 接点荒れの有無、異音の有無を点検する。 ガス漏れの有無を点検する。 冷房又は冷暖切換えスイッチ及び四路切替弁の作動の良否を点検する。作動不良の場合は調整する。
5 送風機 (1) Vベルト	摩耗、緩み及び損傷等の有無を点検する。異常がある場合は調整する。
(2) 軸受 (3) プロペラファン	音及び振動の異常の有無を点検する。 損傷等の劣化及び振動等の異常の有無を点検する。劣化が軽微の場合は補修又は調整する。
6 熱交換器	ファンコイルの汚れ及び損傷等の劣化の有無を点検する。 汚れ又は劣化が軽微の場合は、清掃又は補修する。 通水試験を行い、流れに支障のないことを確認、清掃する。
7 排水系統 8 運転調整 (1) プロペラファン (2) 電流 (3) 冷媒ガス	回転方向が正回転であることを確認する。 送風機の電流が定格値以下であることを確認する。 高圧側及び低圧側の圧力、吐出・吸入温度等の冷媒ガスの状態を把握するのに必要な計測を行い、その値が許容範囲内にあることを確認する。
(4) 熱交換状況	冷媒の液温、冷却風及び冷水又は温水の温度を点検し、熱交換状況が正常であることを確認する。
9 除雪装置(暖房のみ)	作動の良否を点検する。作動不良の場合は調整する。

件 名	空調保守点検(暖房イン)				
図 面	仕様書				
縮 尺	—	作 成 年 月 日	令和 8 年 8 月 3 日	図面番号	6/6
陸 上 自 衛 隊 湯 布 院 駐 屯 地					

簡易貫流ボイラー洗缶

件 名	簡易貫流ボイラー洗缶							
図 面				図面番号	～ 1 / 4			
縮 尺				年 月 日	令和 8 年 9 月 8 日			
業 務 隊 長	管理科長	営繕班長	工事企画係長	管財係	施設係	企画係	係 長	係
								
陸 上 自 衛 隊 湯 布 院 駐 屯 地 業 務 隊								

仕 様 書

1 件 名：簡易貫流ボイラー洗缶

2 実施場所：大分県玖珠郡玖珠町日出生
陸上自衛隊日出生台演習場

3 概 要：KF-1000A簡易貫流ボイラー2基の洗缶整備を実施する。

4 一般事項

- (1) 本作業は、仕様書によるほか「建築保全共通仕様書」及びメーカーの「機器点検清掃調整要領」に基づいて作業するものとする。
- (2) 本作業の写真はカラーとし、作業状況を撮影し、アルバム(A4版)に整理し、1部提出する。
また、デジタルカメラも使用できるものとし大きさはサービス版相当とする。
- (3) 請負業者は、契約後速やかに作業実施日を係官と調整を行い、工程表等を提出して係官の承認を受けるものとする。
- (4) 本仕様書・図面に記載なき事項については係官と調整をし当然実施すべき事項は、請負業者の責任において実施するものとする。また、作業上軽微なもので当然必要と思われる事項においても同様とする。
- (5) 作業中の安全確保には十分留意して現場管理を行うとともに、火災等の災害及び事故に注意する。
また、必要に応じて養生等の処置を行うものとする。
- (6) 作業以外の施設には、損傷を与えないよう十分注意をして施工すること。万一、損傷を与えた場合には係官に報告し、原因が本作業に関わると認められた場合、請負業者が賠償及び補償の責を負うものとする。
- (7) 現場において、指定された以外への立入及び火気の使用は禁止する。
- (8) 作業中に発生したスス・ゴミ等は請負業者の責任において処分するものとする。また、現場は常に清潔にし、片付け清掃をその都度実施すること。
- (9) その他疑義が生じた場合は、係官と協議の上実施するものとする。
- (10) 部隊側の電気・水道等を使用する場合は、係官の承認を受けた後使用し、その後料金を負担すること。
- (11) 本洗缶は、令和8年10月31日(土)までに実施するものとする。

5 ボイラー諸元

- ・型 式：KF-1000簡易貫流ボイラー (川重冷熱工業株式会社製)
- ・最高圧力：0.98MPa
- ・換算蒸発量：1,000kg/h
- ・伝熱面積：4.9㎡
- ・燃料制御方式：電気式(High-Low-Off)
- ・使用燃料：A重油(1種2号)

6 特記事項

(1) 洗缶整備箇所

- ア 缶内・燃焼室
- イ 燃焼装置及び水柱管の清浄
- ウ 給水装置及び給水配管(給水ストレーナ～缶体入口まで)
- エ 附属品及び煙道・煙突灰出口(安全弁吹出し試験を含む)
- オ 各ストレーナの分解整備
- カ 試運転及び安全装置の点検
- キ 燃焼調整及び水圧試験

(2) 洗缶等要領

- ア 過熱管内部の洗缶は検査穴等より目視水洗いし、腐食の有無のチェック及びスケール等付着状態を確認すること。この際、目視できない場合には、スコープ等で確実に点検すること。又、スケールの付着状態が酷く薬品による清浄が必要な場合には、係官に報告し指示を受けるものとする。
- イ 燃焼室、煙道のスス、灰等の外部清浄作業を実施するとともに必要に応じ高圧ジェット洗浄機による清浄作業を行うものとする。
- ウ 図面に示す燃焼室内・附属機器・安全弁等は分解開放整備とし、組立試運転点検及び耐熱塗装は中間検査終了後とする。また、中間検査時、水圧検査を行うものとし、詳細については係官より指示する。

(3) 清浄要領及び留意事項

- ア 作業責任者を選任するとともに作業員の必要条件を備えており、作業安全規則に定める措置を厳守し、危害予防に十分注意して作業を実施すること。
- イ 形状が変化する隅の部分及び火炎の放射熱にさらされる燃焼室内の伝熱面の部分等特に入念に清浄すること。
- ウ 清浄時に安全性に関する異常・変調又は損傷を発見した場合は、直ちに係官に報告すること。

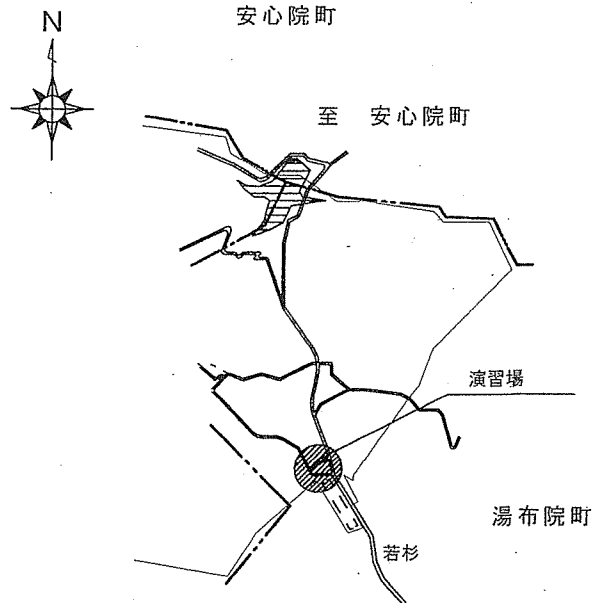
7 検 査

分解開放整備後、直ちに係官の中間検査を受けること。その際、付着物等再仕上げを要すると指摘された部分は遅滞なく再清浄を行うこと。又、本整備が完了した後に完成検査を受けるものとする。

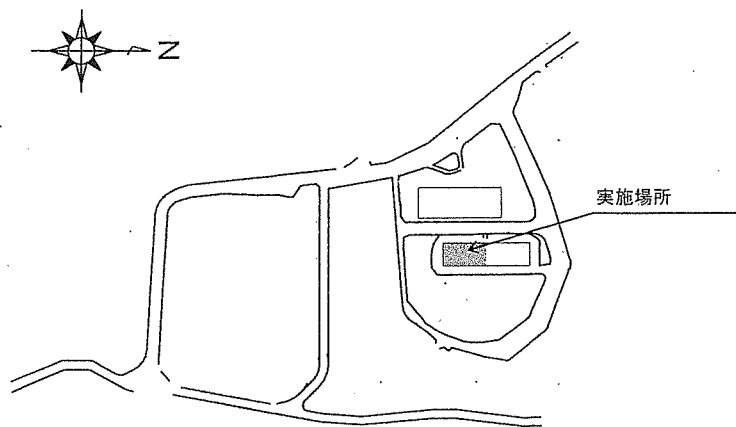
8 その他

- (1) この仕様書の規定外の不明事項については、係官の指示によるものとする。
- (2) 本作業については終了後、「洗缶整備結果報告書」を作成し、1部提出するものとする。
- (3) 耐熱塗装とは、「黒」及び「シルバー」の塗料とする。
- (4) 定期交換部品の「電極棒」・「バーナノズル」・「バーナ用パッキン」は官給品とする。

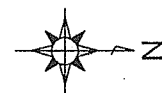
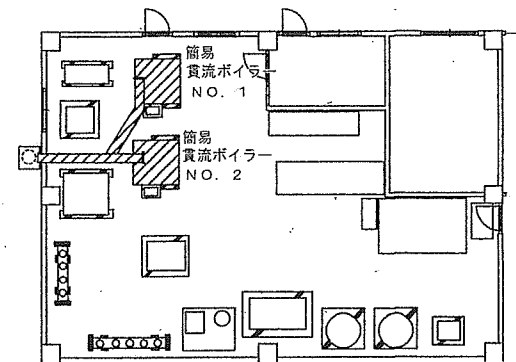
件 名	簡 易 貫 流 ボ イ ラ ー 洗 缶		
図 面	仕 様 書	図 面 番 号	2/4
縮 尺		年 月 日	令和8年9月8日
陸 上 自 衛 隊 湯 布 院 駐 屯 地 業 務 隊			



演習場案内図

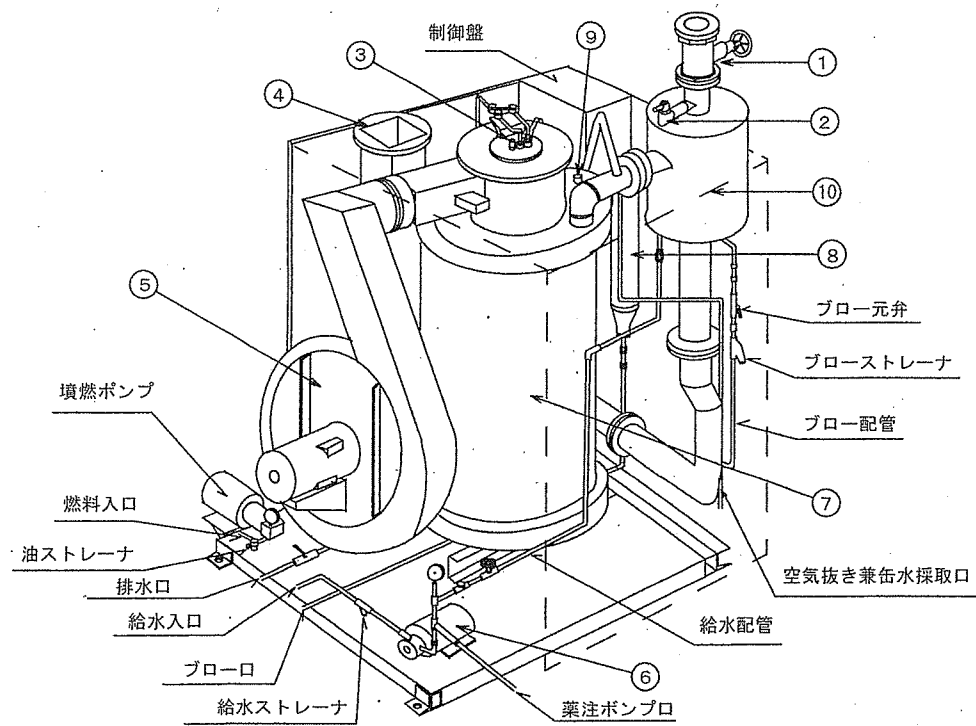


演習場配置図



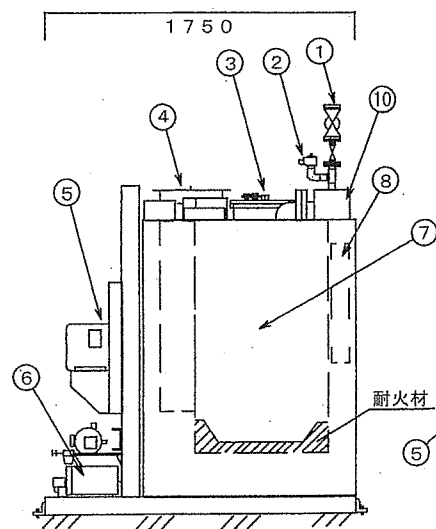
ボイラー機械室

件 名	簡易貫流ボイラー洗缶		
図 面	配置図・案内図	図面番号	3 / 4
縮 尺	1 / X	作成年月日	令和 8 年 9 月 8 日
陸 上 自 衛 隊 湯 布 院 駐 屯 地 業 務 隊			

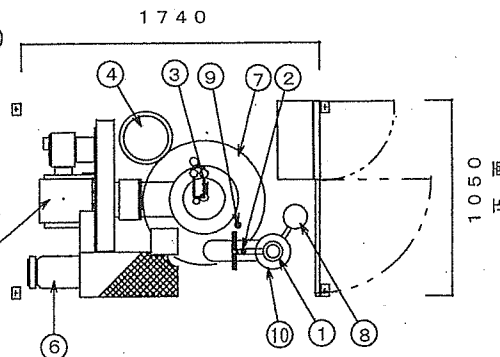


ボイラー立面図

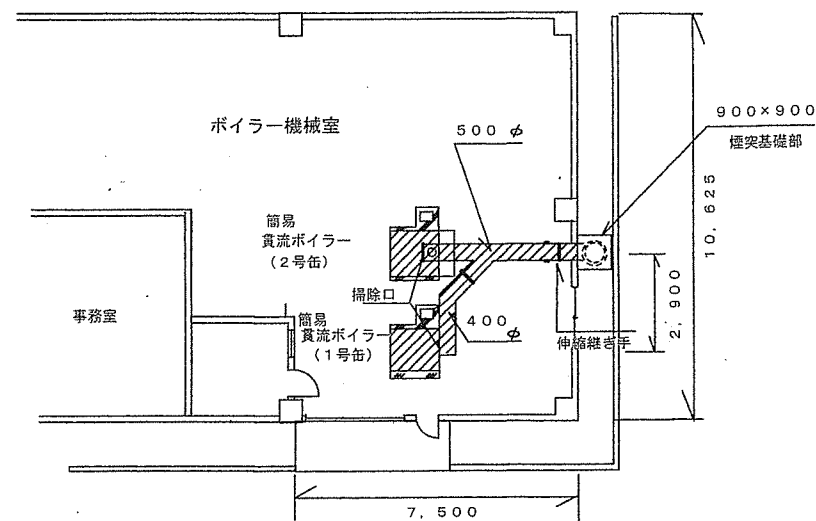
整備ボイラー詳細図			
番号	名称	番号	名称
①	主蒸気弁	⑥	給水ポンプ
②	安全弁	⑦	缶体
③	バーナ	⑧	水柱管
④	排気口	⑨	検査孔
⑤	押込送風機	⑩	気水分離器



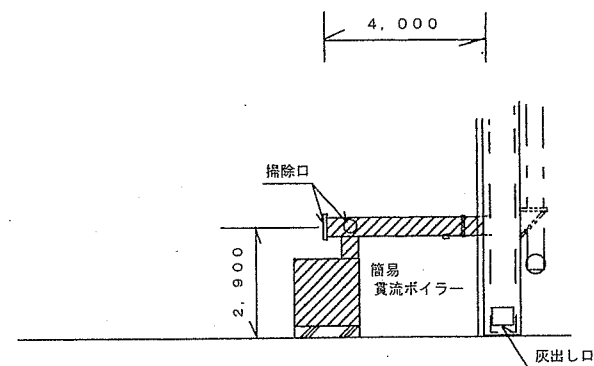
ボイラー左側面図



ボイラー平面図



煙道平面図



煙道側面図

件名	簡易貫流ボイラー洗缶		
図面	立面図・平面図・側面図	図面番号	4/4
縮尺		作成年月日	令和8年9月8日
陸上自衛隊湯布院駐屯地業務隊			

整備工場ボイラー洗缶

件 名	整備工場ボイラー洗缶							
図 面				図面番号	1 / 4			
縮 尺				年 月 日	令和 8 年 9 月 8 日			
業 務 隊 長	管理科長	営繕班長	工事企画係長	管財係	施設係	企画係	係 長	係
								
陸 上 自 衛 隊 湯 布 院 駐 屯 地 業 務 隊								

仕 様 書

1 件 名：整備工場ボイラー洗缶

2 場 所：大分県由布市湯布院町川上941
陸上自衛隊湯布院駐屯地

3 概 要：整備工場にある貫流ボイラー1基の洗缶・整備を実施する。

4 一般事項

- (1) 本作業の写真はカラーとし、作業状況を撮影し、アルバム(A4版)に整理し、1部提出する。
- (2) 請負業者は、契約後速やかに作業実施日を係官と調整を行い、また、工程表等を提出して検査官の承認を受けるものとする。
- (3) 本仕様書・図面に記載なき事項については係官と調整し、当然実施すべき事項は、請負業者の責任において実施するものとする。また、作業上軽微なもので当然必要と思われる事項においても同様とする。
- (4) 作業中の安全確保には十分に留意をして現場管理を行うと共に、火災等の災害及び事故に注意をする。また必要に応じて養生等の処置を行うものとする。
- (5) 作業以外の施設等には、損傷を与えないよう十分注意して作業すること。万一、損傷を与えた場合には係官に報告し、原因が本整備に関わると認められた場合、請負業者が賠償及び補償の責を負うものとする。
- (6) 現場において、指定された以外への立入及び火気の使用は禁止する。
- (7) 作業中に発生したスス・ゴミ等は請負業者の責任において処分するものとする。また、現場は、常に清潔にし、片付け清掃をその都度実施すること。
- (8) その他疑義が生じた場合は、係官と協議の上実施するものとする。
- (9) 部隊側の電気・水道等を使用する場合は、係官の承認を受けた後使用し、その後料金を負担すること。
- (10) 外国人の入門には部隊側が示す様式により申請が必要であり、許可を受けた者のみ入門可能とする。また、部隊側の手続き上、許可までに2～3か月期間を要する。
- (11) 本洗缶は、令和8年10月25日(日)までに実施するものとする。

5 ボイラー諸元

- ・型式：EQ-2002KM小型貫流ボイラー(株式会社日本サモエナー製)
- ・最高圧力：0.98MPa
- ・換算蒸発量：2,000Kg/h
- ・伝熱面積：9.96㎡
- ・燃料制御方式：電気式三位置制御
- ・使用燃料：A重油(1種2号)
- ・燃料消費量：129.4L/h

6 特記事項

(1) 洗缶箇所等仕様

- ア 水缶内部、燃焼室
- イ 燃焼装置及び水柱管の洗浄
- ウ エコノマイザ
- エ 安全弁(吹き出しテスト含む)及び各ストレーナ
- オ 附属品及び煙道・灰だめ整備
- カ 試運転及び各安全装置の点検調整
- キ 燃焼調整及び水圧試験

(2) 洗缶等要領

- ア 過熱管内部の洗缶は検査穴等より目視水洗いし、腐食の有無のチェック及びスケール等付着状態を確認すること。この際、目視できない場合には、スコープ等で確実に点検すること。又、スケールの付着状態が酷く薬品による洗浄が必要な場合には、係官に報告し指示を受けるものとする。
- イ 燃焼室、煙道、エコノマイザのスス、灰等の外部洗浄作業を実施するとともに必要に応じ高圧ジェット洗浄機による洗浄作業を行うものとする。
- ウ エコノマイザは分解開放整備とする。
- エ 図面に示す燃焼室内・附属機器・安全弁等は分解開放整備とし、分解整備終了後中間検査を受けるものとする。また、中間検査時に水圧試験を行うものとし、詳細については係官より指示する。

(3) 洗浄要領及び留意事項

- ア 作業責任者を選任するとともに作業員の必要条件を備えており、作業安全規則に定める措置を厳守し、危害予防に十分注意して作業を実施すること。
- イ 形状が変化する隅の部分及び火災の放射熱にさらされる燃焼室内の伝熱面の部分等特に入念に洗浄すること。
- ウ 洗浄時に安全性に関する異常・変調又は損傷を発見した場合は、直ちに係官に通知すること。

7 検 査

分解開放整備後、直ちに検査官の中間検査を受けること。その際、付着物等再仕上げを要すると指摘された部分は遅滞なく再洗浄を行うこと。又、本洗缶洗浄のすべてが完了した後に完成検査を受けるものとする。

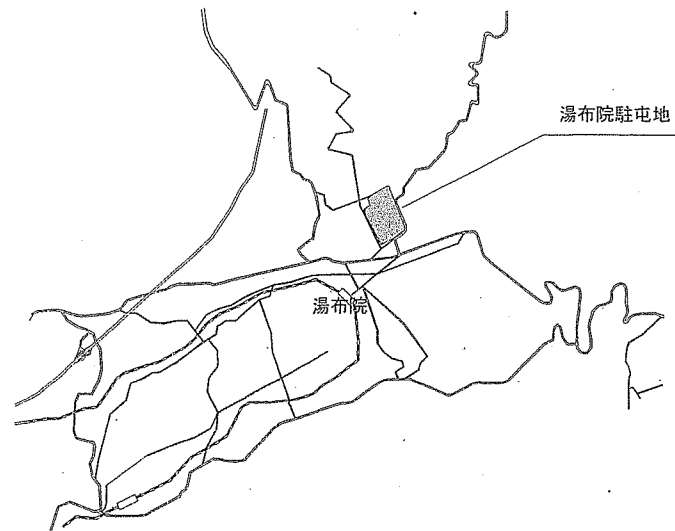
8 その他

- (1) この仕様書の規定外の不明事項については、係官の指示によるものとする。
- (2) 本作業については、「洗缶整備結果報告書」を作成し、1部提出するものとする。
- (3) 耐熱塗装とは、「黒」及び「シルバー」の塗料とする。
- (4) 下記に示す定期交換部品は官給品とする。

(定期交換部品一覧表)

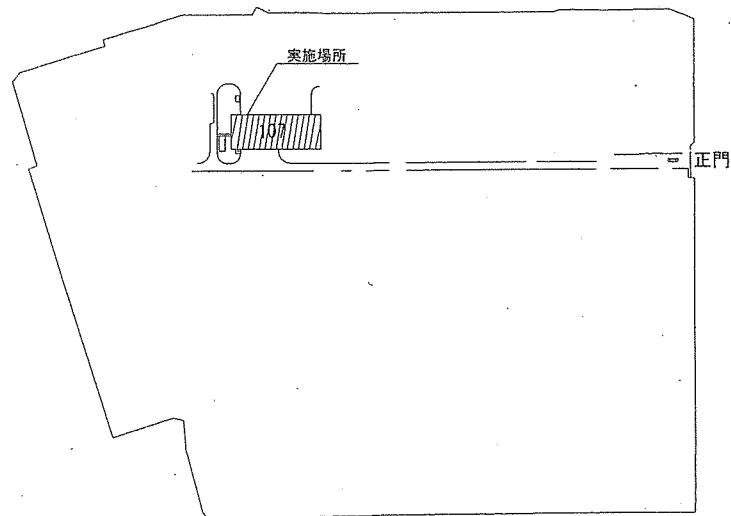
品 名	規 格	数 量
真空破壊弁	Z31000-002	1
伝導率センサー	Z48100-430-AS	1
バーナノズル	Z25C42-135S	2
水面計ガラス	N8B パッキン付	1

件 名	整 備 工 場 ボ イ ラ ー 洗 缶		
図 面	仕 様 書	図 面 番 号	2 / 4
縮 尺		年 月 日	令和 8 年 9 月 8 日
陸 上 自 衛 隊 湯 布 院 駐 屯 地 業 務 隊			

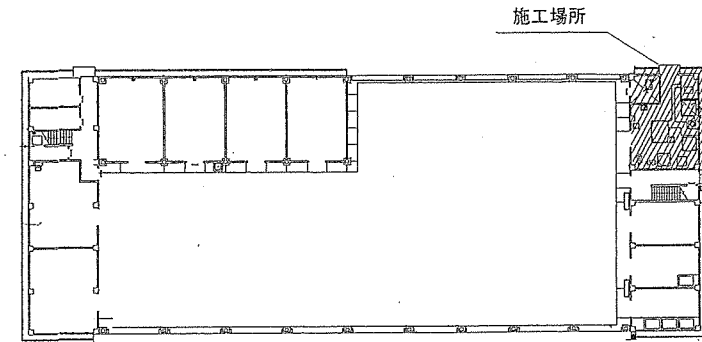


至 大分

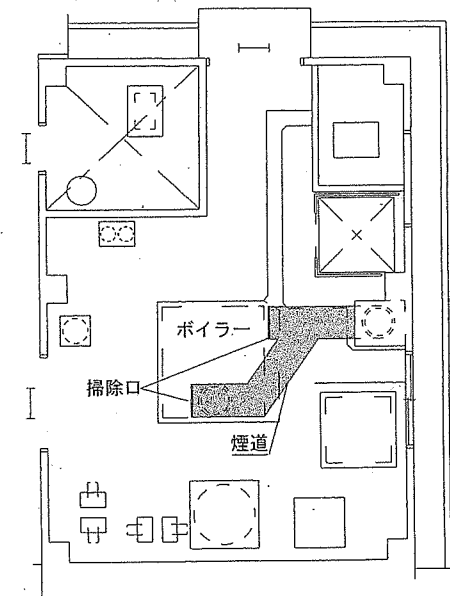
案内図 S=1:X



配置図 S=1:6,000

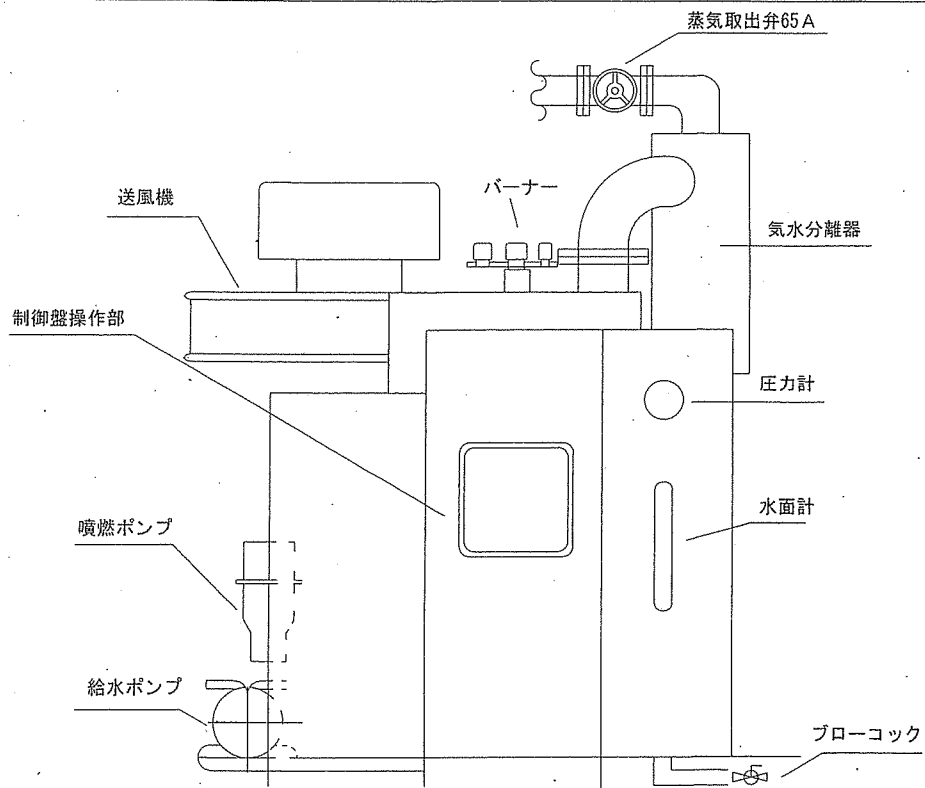


整備工場平面図 S=1:800

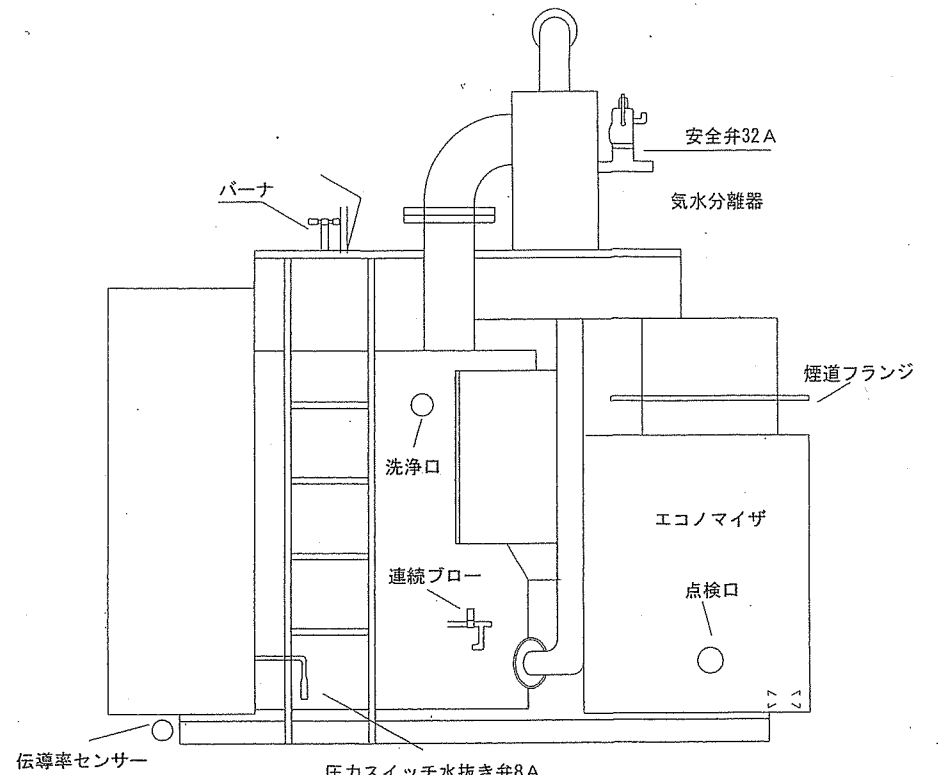


機械室詳細図 S=1:150

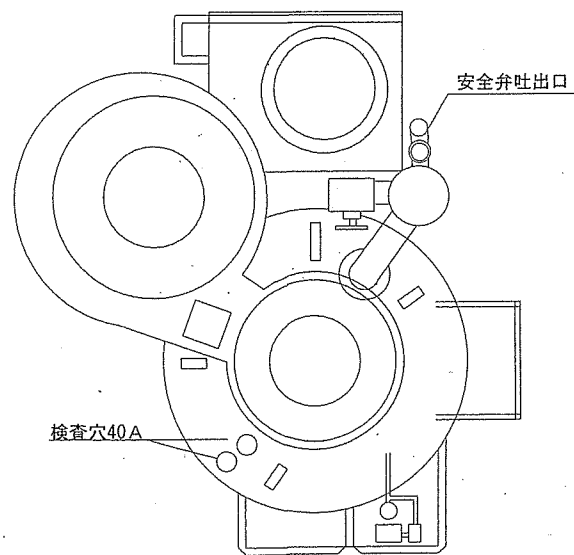
件名	整備工場ボイラー洗缶		
図面	案内図・配置図・平面図	図面番号	3/4
縮尺	図示	作成年月日	令和8年9月8日
陸上自衛隊湯布院駐屯地業務隊			



ボイラー正面図



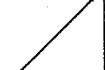
ボイラー側面図



ボイラー上面図

件名	整備工場ボイラー洗缶		
図面	正面図・側面図・上面図	図面番号	4 / 4
縮尺		作成年月日	令和 8 年 9 月 8 日
陸上自衛隊湯布院駐屯地業務隊			

S A C O 施設空調機保守点検 (暖房イン)

件 名	SACO施設空調機保守点検(暖房イン)							
図 面				図面番号	1 / 3			
縮 尺				年 月 日	令和 8 年 8 月 3 / 日			
業 務 隊 長	管理科長	営繕班長	工事企画係長	管財係	施設係	企画係	係 長	係
								
陸 上 自 衛 隊 湯 布 院 駐 屯 地 業 務 隊								

仕 様 書

- 1 件 名：SACO施設空調機保守点検（暖房イン）
2 実施場所：大分県玖珠郡玖珠町日出生 陸上自衛隊 日出生台演習場
3 概 要：空調機の保守点検（暖房イン）
4 一般事項

- (1) 本保守点検は、本仕様書によるほか、「建築保全業務共通仕様書」及び、各製造メーカーの機器取扱要領により実施するものとする。
(2) 工程表を監督官へ1部提出し、実施日及び作業工程を十分に協議し、決定するものとする。
(3) 請負者は、仕様書及び作業中において不明な点が生じた場合は、監督官と協議しその指示に従う。
(4) 本作業に際して、本仕様書に明記なき事項についても、作業上当然実施すべき事項については請負者の負担で実施する。その際、契約金額の変更はないものとする。
(5) 本保守点検作業中に、作動不良及び運転不能等の緊急な修理（過大な部品交換等を必要とする場合等）と判断した場合は、速やかに監督官に連絡し指示を受けるものとする。
(6) 本作業に際し、他の箇所に損傷を与えないよう十分注意して実施し、万一損傷を与えた場合は、請負者の負担において速やかに原形復旧するものとする。
(7) 本作業の写真是、着手及び完了並びに実施中のほか、監督官の指示する箇所を鮮明に横向きで撮影し、役務完了後カラーA4判写真帳に整理し1部提出するものとする。
(8) 本作業に際し、演習場の水道及び電力の使用は原則できないものとするが、やむを得ず使用する場合は仮設計測機器を設置し、使用量に応じた金額を請負者が負担すること。
(9) 本保守点検を実施した際、「保守点検報告書」を作成して1部提出するものとする。
(10) 作業中は法令遵守するとともに安全管理に十分留意し事故発生した場合は、速やかに監督官へ報告すること。
(11) 請負者は作業完了後、現場の整理整頓及び清掃を実施する。
(12) 本作業に際し、外国人の入場には部隊側が示す様式により申請が必要であり、許可を受けた者のみ入場可能とする。また、部隊側の手続き上、許可までに一定の期間を要する。
(13) 本保守点検は、令和8年10月26日（月）までに実施するものとする。

5 保守点検機器の型式及び数量

場 所	機 器 名	型 式	数 量
SACO食堂	蒸気焚吸収式冷温水発生機	タクマ T30S2	1基
	冷温水ポンプ	エバラ 65×50 FS42	2台

6 保守点検内容

- (1) 蒸気焚吸収式冷温水発生機(冷凍能力186kW未満)

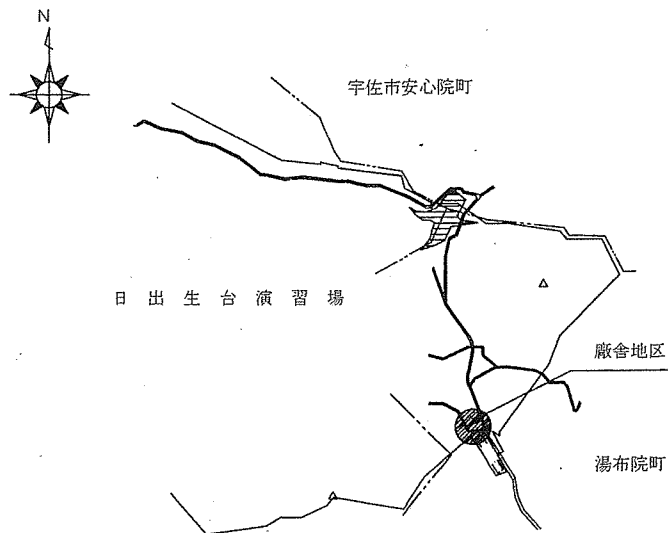
点 検 項 目	点 検 及 び 保 守 内 容
1. 基礎・固定部	①亀裂・沈下等の有無の点検 ②固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みの確認
2. 外観の状況	腐食・変形・破損等の有無の確認
3. 付属品	
a. 付属弁	弁の開閉の良否の点検
4. 動力盤	①暖房の切換えが正しいことの確認 ②絶縁抵抗を測定し、その良否の確認 ③動作の良否の点検 作動の良否の点検
5. 機内盤・遠隔操作盤	
6. 電気系統	
a. 操作回路・電動機回路(キャンドポンプ・密閉ポンプ・抽気ポンプ)	操作回路、電動機回路の絶縁抵抗を測定し、その良否の確認
b. 端子	緩み、変色及び損傷の有無の点検
c. サーマルリレー	キャンドポンプ及び抽気ポンプ用サーマルリレーの設定値の確認
d. 温度調節器	所定の設定値で作動することの確認
e. 操作盤	盤内の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無の点検
f. 接地	接地線及び接地端子の接続状況の確認

点 検 項 目	点 検 及 び 保 守 内 容
7. 保安装置	リレー及び保護装置が規定値で作動することの確認
a. 作動試験	作動の良否の点検
b. インターロック	
8. 温水系統	①出口及び入口の圧力損失が規定値内にあることの確認 ②各水室部に水漏れのないことの確認 ③暖房時前の場合は、冷却水系の水抜きの確認、又は満水保管時の切替弁の確認
9. 運転調整	異常のないことの確認
a. 音・振動	①運転時における主電源電圧の変動が規定値内にあることの確認 ②運転電流が規定値以下であることの確認
b. 電流・電圧	設定温度で作動することの確認 回転方向が正しいことの確認
c. 温度制御	①供給蒸気の1次圧力が規定の許容範囲内にあることを確認 ②蒸気トラップの分解整備
d. 電動機	①温水の入口温度及び出口温度、溶液温度、凝縮温度、蒸発温度等を測定し、その値が許容範囲内にあることの確認
e. 熱源	②不凝縮ガスの混入及び冷却管の汚れの有無の確認
f. 熱交換器	①抽気ポンプで機内の不凝縮ガスを採取し、規定値以下にあることの確認 ②パラジウムセル部の焼損及び劣化の有無の点検
10. 真空気密	溶液に汚れないことの確認
11. 冷媒・吸収剤	

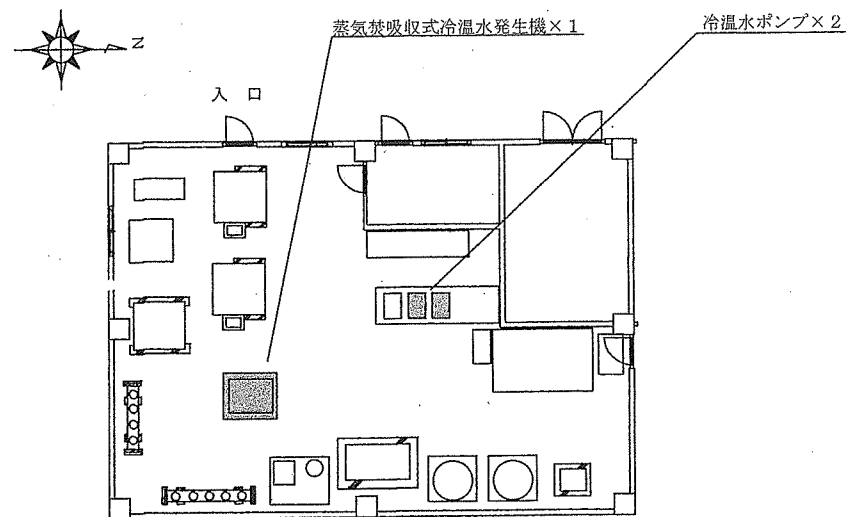
(2) 冷温水ポンプ

点 検 項 目	点 検 及 び 保 守 内 容
1. 基礎・固定部	①固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みの有無の確認 ②防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無の点検
2. 外観の状況	①腐食、損傷及び漏洩の有無の点検 ②軸継手ゴムの損傷等の有無の点検 ③ベルトの損傷等の有無の点検 ④芯出しの良否の点検 ⑤ポンプの吸込圧力及び吐出し圧力が許容範囲内にあることの確認 ⑥軸封の漏水状態の点検 ⑦設置の状況の確認
3. 電動機	①電動機が外部より調査できる場合は、発熱の異常の有無の点検 ②絶縁抵抗を測定し、その良否の確認 ③運転電流が定格値以下であることの確認
4. 制御機器 (真空給水ポンプユニットに限る。)	
a. 制御盤	①電磁開閉器の接点の劣化の有無の点検 ②表示ランプの点灯の良否の点検 作動の良否の点検
b. 真空開閉器、 水位調整器	
c. 電磁弁装置	作動の良否の点検
5. 逆止弁	開閉状態の良否の点検

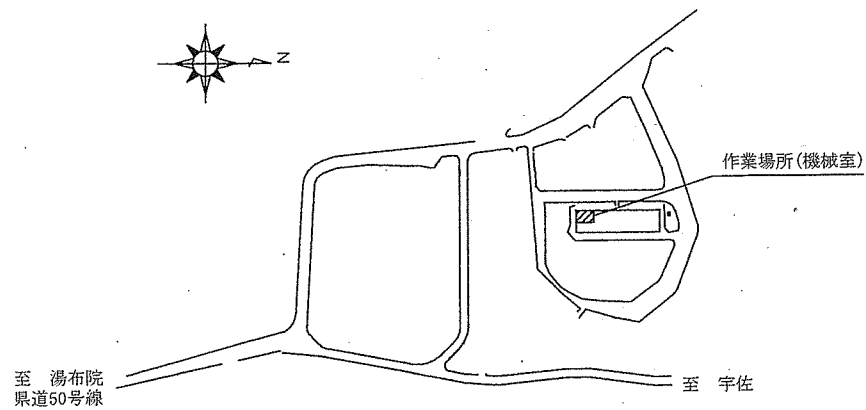
件 名	SACO施設空調機保守点検（暖房イン）				
図 面	仕様書				
縮 尺	—	作 成 年 月 日	令和 8 年 8 月 3 日	図面番号	2 / 3
陸 上 自 衛 隊 湯 布 院 駐 屯 地 業 務 隊					



案内図



機械室配置図



演習場配置図

件名	SACO施設空調機保守点検(暖房イン)			
図面	案内図・配置図			
縮尺		作成年月日	令和 8 年 8 月 27 日	図面番号 3 / 3
陸上自衛隊湯布院駐屯地業務隊				